

第1回常任理事会報告

日 時 平成23年4月19日（火）午後3時～同4時10分
場 所 日本歯科医師会 801会議室
出席者 <会 長> 江藤一洋
<副 会 長> 佐藤田鶴子、荒木孝二
<総務理事> 栗原英見
<常任理事> 川添堯彬、山崎芳昭、福田仁一、向井美恵、
上西秀則、覚道健治、勝海一郎、後藤滋巳、
一戸達也、松村英雄、中島信也
欠席者 <常任理事> 佐々木啓一

[議長 江藤会長]

1. 開 会

佐藤副会長より、開会の辞。

2. 挨拶

江藤会長より、挨拶がなされた。

3. 常任理事会議長

江藤会長より、常任理事会の議長の選出について諮られ、学会規則第22条第2項で「会長が常任理事会の議長となる。」と規定されているが、慣例により、会長の委託を受けた総務理事を議長とするとし、全会了承。

これより以降は、栗原総務理事が議長として議事進行を行った。

4. 報 告

1) 一般会務報告

栗原総務理事より、次の資料に基づき、一般会務報告がなされた。

□一般会務報告（平成 23 年 4 月 1 日～4 月 18 日）

2) 第 22 回日本歯科医学会総会準備状況報告

川添会頭より、総会準備状況について報告がなされた。

3) 会計現況報告

山崎常任理事より、平成 22 年度学会会計および学術大会会計は現在、決算整理作業のため、会計現況報告を行わない旨報告。

4) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供

▶ 平成 22 年度採択プロジェクト研究費中間報告について

一戸常任理事より、平成 22 年度に採択された 3 テーマ 5 題の研究課題について、資料に基づき、中間報告がなされた。

▶ 平成 23 年度プロジェクト研究テーマについて

一戸常任理事より、平成 23 年度プロジェクト研究テーマとして、以下の 2 テーマが決定した旨報告がなされた。

テーマA 高齢者の歯科治療時の全身的リスク評価に関するプロジェクト研究

テーマB 歯の歯折の診断・治療に関するプロジェクト研究

また、栗原総務理事より、前執行部より口腔ケアをプロジェクト研究テーマとすることが決定している旨報告がなされた。

(2) 歯科医療技術革新の推進

(3) 専門医制度の在り方の検討

(4) 学会機構の改革

(5) 国際連携の推進

(6) 歯科医学未来構想の構築

江藤会長より、重点計画の推進の各項目に関連し、本学会の取り組む課題および今後の方針について説明がなされた。

5) 会長報告

江藤会長より、日歯理事会における報告事項および協議事項について、資料に基づき報告。

6) その他

▶ 平成 23 年度 8020 研究事業公募について

栗原総務理事より、標記研究事業が公募されている旨、資料に基づき報告。

5. 協 議

1) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供

特になし

(2) 歯科医療技術革新の推進

特になし

(3) 専門医制度の在り方の検討

▶ 専門医制協議会からの報告書の取り扱いについて

栗原総務理事より、標記の取り扱いについて資料に基づき諮られ、協議の結果、これを了承し、社団法人日本顎関節学会の専門医資格認定団体の申請を「可」とすることを全会一致で決定した。

(4) 学会機構の改革

特になし

(5) 国際連携の推進

▶ 第 99 回 FDI 年次世界歯科大会への本学会代表の派遣について

栗原総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、原案どおり、荒木副会長を派遣することを全会了承。

- (6) 歯科医学未来構想の構築
特になし

2) 事業計画の推進

- (1) 日本歯科医学会慶弔見舞金等基準について

栗原総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、原案どおり全会了承。日本歯科医学会慶弔見舞金等基準の更改を決定し、この基準を平成23年4月1日より施行するとした。

- (2) 後援名義貸与について

栗原総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、原案どおり全会了承。後援名義の貸与を決定した。

- (3) 役員派遣について

栗原総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、原案どおり全会了承。役員のパ遣を決定した。

3) その他

特になし

6. 閉 会

荒木副会長より、閉会の辞。